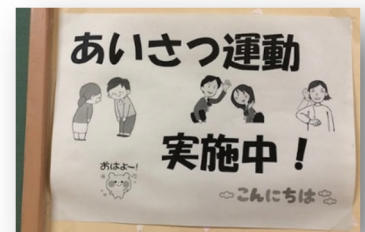




あいさつ運動、実施中！



6月下旬、朝の昇降口で高B生徒たちがあいさつ運動を実施しました。元気なあいさつで始まる一日は、学校のみなを元気にしてくれます。学校の中ではもちろん、家庭でも、地域でも、また実習の場面や卒業後も、あいさつは人とのつながりの第一歩です。相手を思いやる気持ちがこもったあいさつは、あたたかく明るく響きます。言葉によるあいさつだけでなく、手や足を動かしたり、瞬きをしたり、大きく息をしたり、声を出したり、あいさつの方法は様々ですが、子どもたちはごく自然に学年や学部をこえてあいさつを交わしています。前向きに努力する子どもたちを支え、明るく活気のある学校生活の中で社会に生きる力をつけていきたいと思っています。



授業参観

6月の参観日には、多くの保護者の皆さまに来校いただきありがとうございました。天気もよく、畑や中庭などを使った授業も予定通り実施できました。新年度が始まって2か月、学校生活の様子をご覧いただく機会となりました。

ふだんとは違う様子を意識したり、緊張したりしていた児童生徒もいました。また、張り切ってみんながびっくりするくらい集中して学習していた児童生徒もいました。ご家庭との連携のもと、今後の指導にもつなげていきたいと思ひます。今後ともご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。





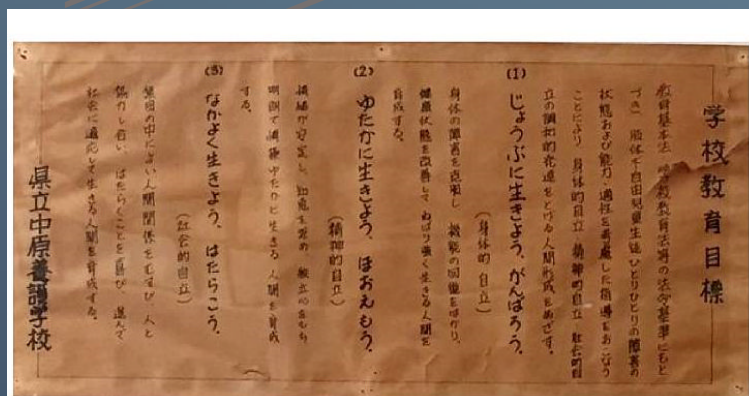
校歌のお話（第2回）

「ゆたかに生きよう ほおえもう」

校長室には、創立時に手書きで書かれた「学校教育目標」が掲示してあります。そこには「じょうぶに生きよう がんばろう」（身体的自立）「豊かに生きよう ほおえもう」（精神的自立）「なかよく生きよう はたらこう」（社会的自立）という3つの目標が書いてあります。さらに、この3つの言葉は校歌の1番、2番、3番の歌詞になっていて、児童生徒にも親しみやすく、簡潔でわかりやすいものになっています。

全校児童生徒が一同に集まる始業式では、全員で声を合わせてこの目標を言い、続いて校歌を歌います。歌になっているので自然と口ずさむ子どももいますし、「知ってる！」と笑顔で伝える子どもたちもいます。

先日、登校時に昇降口に立っていたらこんなことがありました。少し元気のない様子で歩いてきた生徒に友達が声をかけたところ、生徒は笑顔を見せて教室に向かいました。それを見ていたある生徒が笑顔で言った言葉が「校長先生、『ゆたかに生きよう、ほおえもう』だね！」でした。本当に素敵な言葉だとあらためて思うと同時に、嬉しくあたたかい気持ちになったできごとでした。



開校当時に書かれたものが現在も校長室に掲げられています。